

MAJESTyは2010年度以降も継続します

科学技術ジャーナリスト養成プログラム から
科学技術ジャーナリズム・プログラム へ



Photo by K.Iwasawa, M.Aoyama, M.Tomita

政治学研究科は2005年度より、科学技術分野の専門ジャーナリスト養成をめざし、「科学技術ジャーナリスト養成プログラム」を開始しました。2010年度以降は、「ジャーナリズムコース」のなかに統合し、「科学技術ジャーナリズム・プログラム」という名称で、引き続き本学の恒久的な人材養成事業として実施していきます。

社会と科学の接点を扱う専門ジャーナリストを引き続き養成

社会の隅々に科学技術が入り込んだ現代において、科学技術を専門とするジャーナリストの活躍が強く求められています。しかし、現実にはその社会的期待は十分に満たされているとはいえません。現代社会と科学技術という最も重要な問題を、最先端の接点で捉えることができる鋭敏な専門ジャーナリストの養成は、これからも本学が果たすべき使命だと考えます。

科学技術ジャーナリスト養成プログラム (MAJESTy) に対する文部科学省の支援が終了する2010年度以降も当プログラムの主要科目を継続して開講し、ジャーナリズムコースの中の専門プログラムの一つとして「科学技術ジャーナリズム・プログラム」を実施していきます。

文部科学省のプログラム事業では、ジャーナリズムコースとは別にMAJESTy枠の学生のための入学試験をしてきました。2010年度からは、入学者はジャーナリズムコースに一本化します。コース内に科学技術ジャーナリズム・プログラムを設け、所定の単位を取得した学生には、修了時に修士(ジャーナリズム)の学位とともに、科学技術ジャーナリズム・プログラムの認定証を授与します。

環境プログラムを2010年度から開始予定

2010年度には、科学技術ジャーナリズム・プログラムのほか、環境ジャーナリズム・プログラムを新設する予定です。今日的課題に応える専門ジャーナリスト養成を充実させるため、学際的な取り組みをさらに進めていきます。

ジャーナリズムコース (日本初のジャーナリズム大学院で学ぶ)

プロフェッショナルとして倫理、知識、技術において実践的な人材であるとともに、専門的知識と市民社会の間に相互関係を作り上げる公共的コミュニケーションの担い手として、専門性においても卓越したジャーナリストの養成をめざします。同時に、ジャーナリズムに関する研究の推進と研究者およびジャーナリスト養成教育を担う人材を養成します。

2010年度4月入学 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程入学試験要項等の詳細情報は [こちら](#)